

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-06-02

甲第六十四号

(発行年 / Year)

1910

第一千二十七條 相續ノ拋棄ヲ爲シタル者ハ其拋棄ニ因リテ相續人ト爲ル者カ相續財産ノ管理ヲ始ムルマデ自己ノ財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ其財産ノ管理ヲ繼續スルコトヲ要ス

第六百四十五條第六百四十六條及ヒ第六百五十條第一項第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

(參照) 第一章二〇五六同第二章一八三六

甲第六十四號

明治二十九年七月二十四日配付

第五章 財産ノ分離

第一千二十八條 相續債權者又ハ受遺者ハ相續開始ノ時ヨリ三个月内ニ相續人ノ財産中ヨリ相續財産ヲ分離センコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得其期間満了ノ後ト雖モ相續人カ現實ニ相續財産ヲ占有セサル間亦同シ
裁判所カ前項ノ請求ニ依リテ財産ノ分離ヲ命シタルトキハ其請求ヲ爲シタル者ハ五日内ニ他ノ相續債權者及ヒ受遺者ニ對シ財産分離ノ命令アリタルコト及ヒ一定ノ期間内ニ配當加入ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

(參照) 第八七八八〇、漢八一、二、八一三、三一、一五三、一、一五四、一一五六、伊一〇三、二、一〇五四、二、一〇五七、二、一〇五九、二、一〇六〇、ヲニリヒ九五八、西一〇八二、白章九八四、九八五、第一章二一五〇、舊一部十六、章五〇〇、第二章三三三以下

第一千二十九條 財産分離ノ請求ヲ爲シタル者及ヒ前條第

二項ノ規定ニ依リテ配當加入ノ申出ヲ爲シタル者ハ相續財産ニ付キ相續人ノ債權者ニ先チテ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

(參照) 漢八一・二・伊二〇・五五二・〇六三・白草九八八・獨一章二一五〇

第一千三十條 財産分離ノ請求アルトキハ裁判所ハ相續財産ノ管理ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得
裁判所カ特別管理人ヲ選任シタル場合ニ於テハ第二十七條乃至第二十九條ノ規定ヲ準用ス

(參照) 漢八一・二・伊二〇・五五二・〇六三・白草九八八・獨一章二一五〇

第一千三十一條 相續人ハ單純承認ヲ爲シタル後ト雖モ財産分離ノ請求アルトキハ爾後其固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ相續財産ノ管理ヲ爲スコトヲ要ス但裁判所ニ於テ特別管理人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百四十五條乃至第六百四十七條及ヒ第六百五十條

第一項第二項ノ規定ハ相續財産ノ管理ヲ爲ス相續人ト財産分離ノ請求ヲ爲シタル者トノ間ニ之ヲ準用ス

第一千三十二條 相續財産中ノ不動産ニ付テハ財産分離ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

(參照) 佛二・一・二・一・三・關一・一五四・伊二〇・六〇・二・〇六二・白草九八七

第一千三十三條 第三百四條ノ規定ハ財産ノ分離ニ之ヲ準用ス

(參照) 伊二〇・六一

第一千三十四條 相續人ハ第一千二十八條第一項及ヒ第二項ノ期間滿了前ニハ相續債權者及ヒ受遺者ニ對シテ辨濟ヲ拒ムコトヲ得

右ノ期間滿了ノ後ハ相續人ハ相續財産ヲ以テ財産分離ノ請求又ハ配當加入ノ申出ヲ爲シタル各債權者及ヒ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ第一千十九

條第二項第二項及ヒ第一千二十條乃至第一千二十三條ノ規定ヲ準用ス

(參照) 漢八一三乃至八一五伊二〇六二三ノエーリヒ九五八三項白草九八九獨一章二一五〇

第一千三十五條 財産分離ノ請求ヲ爲シタル者及ヒ配當加入ノ申出ヲ爲シタル者ハ相續財産ヲ以テ全部辨濟ヲ受クルコト能ハサリシ場合ニ限り相續人ニ對シテ其權利ヲ行フコトヲ得但相續人ノ債權者ハ之ニ先チテ辨濟ヲ受クルコトヲ得

(參照) 漢八一二白草九九〇一項

第一千三十六條 相續人ハ其固有財産ヲ以テ相續債權者又ハ受遺者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ之ニ相當ノ擔保ヲ供シテ財産分離ノ請求ヲ防止シ又ハ其效力ヲ消滅セシムルコトヲ得

(參照) 伊二〇六四

第一千三十七條 相續人カ限定承認ヲ爲スコトヲ得ル間ハ

其債權者ハ財産分離ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一千十七條乃至第一千二十四條及ヒ第一千三十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但第一千十七條ニ定メタル公告ハ財産分離ノ請求ヲ爲シタル債權者之ヲ爲スコトヲ要ス

(參照) 佛八八一、蘭一一五七白草九八四九九〇二項